

# 日本共産党札幌市議団



## 敬老優待乗車証（敬老パス）と 外出支援のアンケート結果 報告集（HP 掲載版）

# 目次

ごあいさつ	1p
集計結果	
・ 集計結果（Q1 ～ 6 の回答割合）	2p
・ 集計結果（自由記載欄）	3 ～ 41p
アンケート用紙（表）	42p
アンケート用紙（裏）	43p
厚生常任委員会の陳情審査	44p

※また、こちらの HP 掲載版は個人が特定されないように自由記載欄を除いたものになります。自由記載欄も含めた集計結果はお近くの地区委員会か札幌市議団にまでお問合せ下さい。

# 「敬老パス・外出支援のアンケート」に、 ご協力いただき、ありがとうございました。

## ー敬老パス事業の継続・充実こそ市民の願いー

日本共産党札幌市議団は、2022年12月から2023年3月にかけて、「敬老パス・外出支援のアンケート」に取り組みました。

敬老パス（敬老優待乗車証・敬老ICカード）は、札幌市が70歳以上の市民を対象に、高齢者の外出を支援し、明るく豊かな老後の生活の充実をはかるために、1000円～17000円の自己負担で、10000円～70000円分の公共交通機関を利用でき、高齢者から大変喜ばれている制度です。

札幌市が2018年8月に実施した利用者実態調査では、事業の継続や充実とともに、JRやタクシーへの利用拡大などの改善要望が寄せられ、党市議団も市にたいし要望を重ねてきました。

少子化・高齢化が加速的に進む本市は、長期化する新型コロナウイルス感染症や物価高騰など社会・経済情勢の変化に加えて、郊外地域のバス路線の廃止・減便といった公共交通網の縮小、21年末から翌年にかけての雪害と対応の遅れなど、外出にとっていくつもの障害が発生し、敬老パスは、ますます欠かせない制度になっています。

市は、持続可能な制度として、サービス水準の在り方等を検討していくとしていますが、日本共産党市議団としても、みなさんの声を直接お聞きし、市政に反映させる必要があると判断し、このアンケートに取り組みました。

## 除排雪・公共交通の利便性向上・敬老パスの対象拡大-外出支援トップ3

アンケートは、締切の23年3月31日までに、1567通が寄せられました。

6つの設問に対する回答の集計は、2ページをご参照ください。

敬老パス制度の改善要望では、「タクシーやJRへの利用拡大」が70.8%を占め、次いで「自己負担の軽減」が39.6%となりました。

外出支援策としては、「生活道路の除排雪の充実」73.8%が一番多く、「路線バスの維持・利便性向上」47.6%、「敬老パス制度の拡充」38.1%と続きました。

3ページから自由記載欄に寄せられたご意見を紹介させていただきました。

特徴的なのは、21年から22年にかけての大雪被害の記憶が新しいことから除排雪の充実や、特に郊外地域で路線バスの廃止・減便が進んでいることへの不安や改善要望、高齢化に伴う通院や緊急時のタクシーへの敬老パスの利用拡大、JR沿線地域からの利用拡大が接続に苦労している実態が見て取れます。

また、敬老パス制度や社会活動への参加など高齢者の生きがいや健康維持に役立っているとのこと意見を多数いただいたほか、札幌市が進める2030冬季オリンピック招致は中止し、除排雪や公共交通の利便性向上を優先すべきとのこと意見をいただきました。

# 集計結果（Q1～6の回答数と割合）

アンケートの設問等、詳細は p42~43 をご覧ください。

Q1 年齢をお聞かせ下さい			
第1	70歳代	929	(59.28%)
第2	80歳代	424	(27.05%)
第3	90歳代	66	(4.21%)
第4	その他	116	(7.40%)

Q2 日常的に利用される交通機関			
第1	地下鉄	1104	(70.45%)
第2	電車	166	(10.59%)
第3	バス	987	(62.98%)
第4	JR	157	(10.01%)
第5	タクシー	223	(14.23%)
第6	乗用車	378	(24.12%)

Q3 どのような目的で交通機関をお使いですか（複数）			
第1	通院等	1036	(66.11%)
第2	買い物	1026	(65.47%)
第3	町内会等の社会活動への参加	227	(14.48%)
第4	レクリエーションへの通い	416	(26.54%)
第5	その他	407	(25.97%)

Q4 敬老パスをお持ちですか			
第1	持っている	1313	(89.79%)
第2	持っていない	183	(11.67%)

Q5 敬老パス制度に求めたい改善要望は			
第1	自己負担の軽減	632	(40.33%)
第2	利用金額の引き上げ	280	(17.86%)
第3	JR やタクシーへの利用拡大	1120	(71.47%)
第4	対象年齢の引き下げ	183	(11.67%)
第5	その他	102	(6.50%)

Q6 外出支援として市に取り組んでほしいこと（複数）			
第1	地下鉄・市電の延長等	312	(19.91%)
第2	敬老パス制度の拡充	612	(39.05%)
第3	路線バスの維持・利便性向上	752	(47.98%)
第4	デマンド交通の導入	267	(17.03%)
第5	生活道路の除排雪の充実	1166	(74.40%)
第6	その他	84	(5.36%)

# アンケート用紙（表）

## 敬老パスの改善

敬老優待乗車証(敬老ICカード)

### 外出支援について みなさまの声を お聞かせください

**日本共産党**  
札幌市議団  
市政アンケート

アンケートに  
ご協力ください

札幌市が、70歳以上の市民を対象に発行する敬老パス。1,000円～17,000円の自己負担で、10,000円～70,000円分の公共交通機関の利用ができ、高齢者から喜ばれている制度です。

目的は、高齢者の外出を支援し、明るく豊かな老後の生活の充実を図るため。社会参加が促され健康増進による医療や介護の軽減にも効果が期待されています。

札幌市は今後、敬老パスのサービス水準の在り方等を検討するとしています。

引き続き利用しているみなさんや、ご家族の声を聞かせていただくことが、なによりも大切と考えています。

みなさんのご協力をお願いいたします。

発行：日本共産党札幌市議団  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
Tel 011-211-3221 Fax 011-218-5124  
Mail: jcp-sapp@titan.ocn.ne.jp  
http://www.jcp-sapporo.jp/

郵便はがき

料金受取人払郵便

札幌中央局  
承認

2156

差出有効期間  
2023年3月31  
日まで

●切手不要

0608788

114

札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市役所内  
日本共産党札幌市議会議員団 行



よろしければお名前、ご住所、お電話番号の  
ご記載をお願いします。

お名前

ご住所

お電話番号やメールアドレス

# アンケート用紙（裏）

## ニ 敬老パス・外出支援のアンケート ニ

左下（ハガキ裏面）の回答スペースに○をつけてお答えください  
（敬老パスをお持ちの方に代わって、ご家族がお答えいただいても構いません）

**Q1** 年齢をお聞かせください

- ①70歳代    ②80歳代  
③90歳以上    ④その他

**Q2** 日常的に利用される交通機関は  
（2つお答えください）

- ①地下鉄    ②電車  
③バス    ④JR  
⑤タクシー    ⑥乗用車



JR札幌駅とタクシー乗り場

**Q3** どのような目的で交通機関をお使いですか  
（複数回答可）

- ①通院等  
②買い物  
③町内会等の社会活動への参加  
④レクリエーションへの通い  
⑤その他（注）

**Q4** 敬老パス（敬老ICカード）をお持ちですか

- ①もっている    ②もっていない

**Q5** 敬老バス制度に求めたい改善要望は  
（複数回答可）

- ①自己負担の軽減  
②利用金額の引き上げ  
③JRやタクシーへの利用拡大  
④対象年齢の引き下げ  
⑤その他（注）

**Q6** 高齢者の外出支援として市にとりくんでほしいことはありますか（複数回答可）

- ①地下鉄・市電の延長等  
②敬老バス制度の拡充  
③路線バスの維持・利便性向上  
④デマンド交通の導入（予約・乗り合い交通）  
⑤生活道路の除排雪の充実  
⑥その他（注）

該当する番号に○をつけてご回答ください

<b>Q1</b>	①	②	③	④		
<b>Q2</b>	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>Q3</b>	①	②	③	④	⑤	
<b>Q4</b>	①	②				
<b>Q5</b>	①	②	③	④	⑤	
<b>Q6</b>	①	②	③	④	⑤	⑥

ご意見等をご自由にお書きください

注＝具体的な要望などは、ハガキ裏面にお書きください

以下のいずれかで回答をお願いします

- 左の返信用ハガキ（切手不要）
- FAX 011-218-5124
- 日本共産党札幌市議団HPのアンケートサイト



アンケートへのご協力ありがとうございました。

# 厚生常任委員会の陳情審査

6月12日（月） 市議会厚生常任委員会 質問者・長屋いずみ議員  
高齢者の健康と生きがいで欠かせない制度 タクシーやJRでも  
市民が出した敬老パスの利用拡大を求める陳情で質疑

現在地下鉄や市電、バスでの利用に限られている「敬老優待乗車証（敬老パス）を、タクシーやJRにも拡大してほしい」と市民から出された陳情が6月12日、札幌市議会厚生常任委員会で審議され、日本共産党の長屋いずみ議員が採択を求めました。

党市議団が昨年未から実施した「敬老パス・外出支援アンケート」では、〇〇〇〇通の回答が寄せられ、「JRしかない地域、バス停が遠くて歩けない」「緊急時に利用するタクシーで使えないのが困る」など切実な要望が寄せられました。

長屋議員は、敬老パスを申請しながら2割が使っていないことを指摘。「よく外出する高齢者ほど普段生きがいを感じていると内閣府の高齢社会白書が分析しています。改善は高齢者にとって健康増進にとどまりません。利用が増えると消費経済効果もあがり、交通事業者の利益にも貢献する」と利用対象の拡大は利用促進になると採択を呼びかけました。

市は、これまで利用実態調査を概ね3年ごとに実施していますが、「23年度以降の適切な時期を見極めたい」と再開の意向を示しました。

2019年5月にも同様の陳情を提出した陳情者は趣旨説明で、「継続審査のあと審議されずに廃案になったが、今回は審議をしてほしい」と訴えました。

陳情は、自民、民主、公明、維新などが主張する継続審査となりました。





【編集・発行】

2023年7月発行

日本共産党札幌市議会議員団

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目市役所内

TEL011-211-3221 FAX011-218-5124